

町長就任のご挨拶

坪根 秀介

師走の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度の町長選挙に立候補し、当選させていただきました坪根秀介です。

今回の選挙は図らずも他に立候補者がなく、無投票当選という結果となりました。このことは、大多数の有権者からの支持を意味するものではないことを自覚し、今後の町政運営にあたりましては、町民の皆様と様々な機会を通して親しく触れあい、その声を大切にしながら、誠心誠意その職責を全うしていく所存であります。

さて、本町は合併から早八年を経過いたしました。この間、鶴田前町長のもと職員一丸となつたまちづくりが進められ、町民の皆様のご理解とご協力によって、様々な事業が進展するとともに堅実な行財政運営が確保され、近隣市町に勝るとも劣ることのない行政基盤が築かれました。私は、鶴田前町長の「減私奉公」の志を受け継ぎながら、新たな上毛町の舵取り役として、その名に恥じぬよう責任と誇りを持って、教育、産業振興、少子高齢化など山積する行政課題の解消に一步ずつ着実に歩を進めて参りたいと考えます。

私の目指す町づくりの基本は、子どもからお年寄りに至るすべての町民が、生き生きと輝き、健康で笑顔のあふれる町づくりです。人々が手を取り合い世代を超えて支え合う、ぬくもりある地域社会の形成に努め、とりわけ将来を担う子どもたちには、名声、お金、利己心より、もっと輝く大切なものがあること、そして、夢は努力によって叶うことを私たち大人が実践し、それを背中では指し示すことが、私の掲げる「九州一輝く町」の創造につながるものと信じています。また、町民一人ひとりが、町政に対する関心を高めていただくことも大切です。正しい情報認識のもとで町政運営に関心をお持ちいただき、率直なご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

終わりに臨み、上毛町の発展に向けて町政の推進に全力を傾注し邁進して参りますこととお誓い申し上げますとともに、町民各位の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。私の就任のご挨拶といたします。

町長退任のご挨拶

鶴田 忠良

初冬の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

ご案内のように、旧新吉富村・大平村は平成十七年十月十一日合併して、上毛町制を施行し八年が経過いたしました。この度、町長職を辞するにあたり、謹んで町民の皆様へ退任のご挨拶を申し上げます。

陳者、これまでの二期八年、町民皆様には格別のご支援ご協力を賜り、御蔭をもちまして上毛町政舵取りの重責を無事果たし終えることができました。先ず皆様に深く感謝し、心からお礼申し上げます。

顧みますと、就任以来の町政は、二村の似て非なる実情を踏まえ、公平公正を期し遺漏なく平準化を図ることが最大の使命であり、根幹を成すものであります。平準化が概ね達成できたと考える中で、大平保育所に始まり上毛中学校体育館に終わった大小の建・改築事業、国の方針もあって農業者のためと成り得なかった農業諸事業、少子高齢化対策や行政改革は職員共々労多かつたとはいえ、成果の見た感慨一入のものであります。関係方々の努力はもとより、とりわけ自治会長皆様の当該地区のみならず町全体

の発展に尽くされた努力は感謝にたえず、改めてお礼申し上げます。

町外では、麻生渡前福岡県知事、本間清輔西日本高速道路九州支社長の特段のご配慮で決定した「上毛スマートインターチェンジ」は、関係者のご努力とともに忘れ得ない施設であり、地域発展の重要拠点となる筈であります。国交省努力の国道十号の四車線化、県の理解が大きかった旧築上東高等学校跡地の宅地化等は県内外の多くの方々のご支援の賜であり、書中からではありますが衷心よりお礼申し上げますと存じます。

上毛町は発展著しい町であり、輝かしい未来が展望される町であります。町民全てが全町に思いを致し心を一つにして、誇り高い上毛町を構築すべく弛まぬ努力をなされるよう願って止みません。

結びに、上毛町の更なる発展と町民皆様のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げます。退任のご挨拶といたします。

